

認知地図の構成要素

Lynch, K. : The image of the city.(1960) より



パス
[Paths]

道路

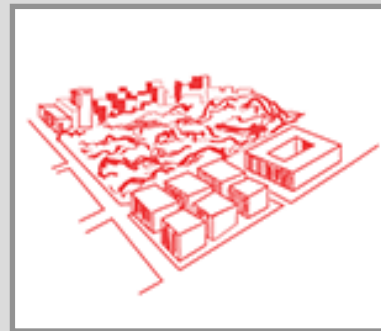
(Ex. 一般道路
高速道路
線路)



エッジ
[Edges]

縁

(Ex. 海岸
開発地
崖)



ディストリクト
[Districts]

地域

(Ex. 公園
遊園地
中華街)



ノード
[Nodes]

接合(集中)点

(Ex. 交差点
駅
空港)



ランドマーク
[Landmarks]

目印

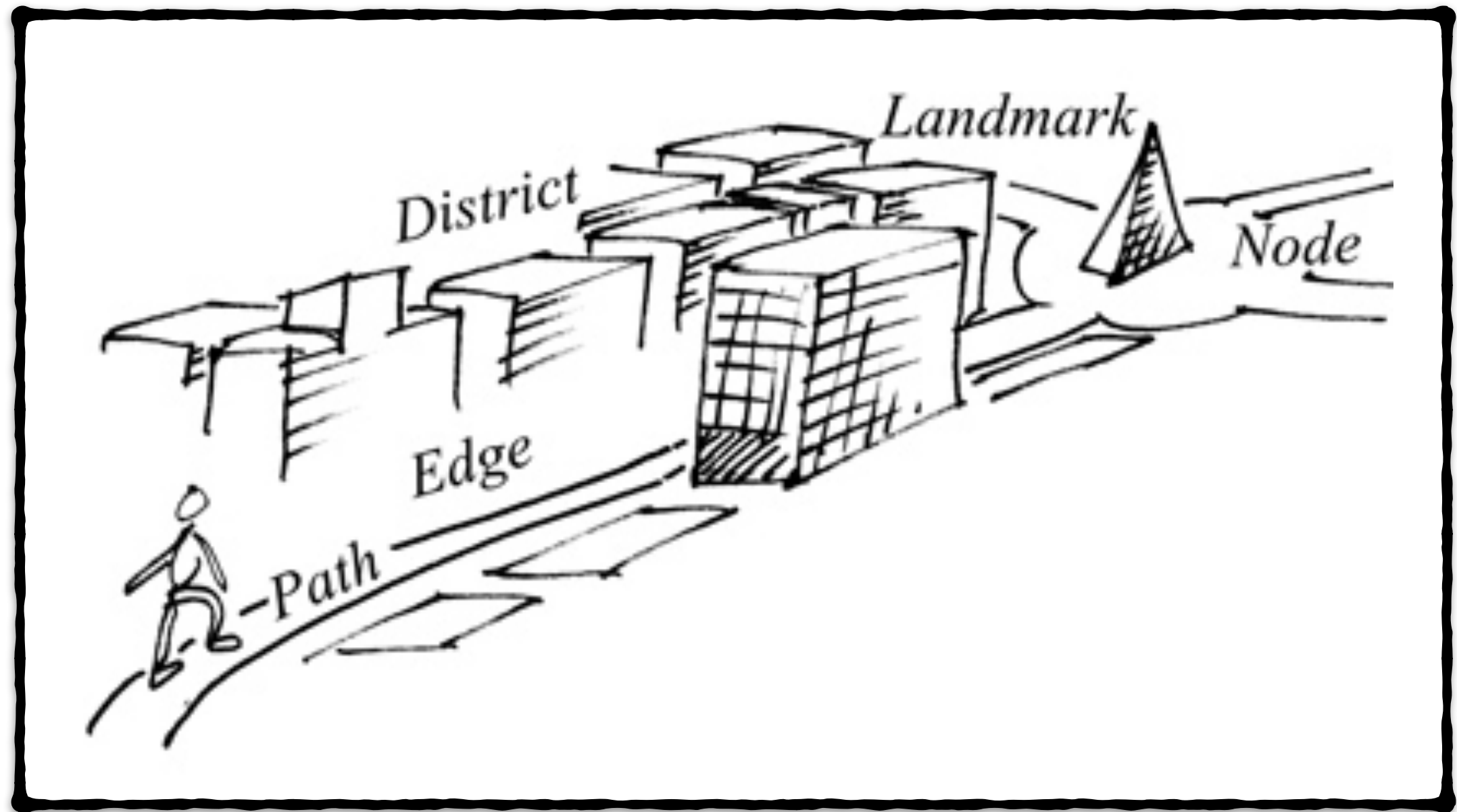
(Ex. 山
塔
看板)

5つ構成要素のイメージは大体こんな感じ。

私たち人間は、広く複雑な実世界をこれらの要素に変換し、地図化していると考えられます。

認知地図の構成要素（イメージ）

Lynch, K. : The image of the city.(1960) より



5つの構成要素を空間に並べたときのイメージはこんな感じ。

詳細は、『都市のイメージ ケヴィン・リンチ』で検索してみてください。（翻訳版があります）